

お知らせ

2020年 6月23日

路面電車、路線バスに信号灯器色と残り時間を表示！ ～ 『ひろしまサンドボックス』の実証プロジェクトが進行中 ～

中電技術コンサルタント、広島大学、東京大学、自動車技術総合機構交通安全環境研究所、広島電鉄、マツダの産学官6者で構成するコンソーシアム（代表者 中電技術コンサルタント）は、広島県の「ひろしまサンドボックス※1」に参画し、安全で利便性の高い公共交通環境の実現を目指す「通信型ITS※2による公共交通優先型スマートシティ構築事業」の実証プロジェクトを2019年2月から実施しています。

この度、広島市内2カ所の交差点において、信号機から路面電車・路線バスに向け信号情報を伝える仕組みの構築と、運転席横に設置する支援モニターに信号灯器色とその残り時間の表示を可能とするシステムを開発し、次頁のとおり実証実験を開始します。

本システムにより、路面電車運転士・路線バス運転手が信号灯器色に合わせて、早めに減速を調整することが可能となることを期待できる他、信号待ちのストレス軽減などの効果が期待されます。

なお、今後は通信型ITS技術の適用により、車両相互で走行環境情報を共有して、これまで運転手が気付かなかった危険事象を事前に提供する安全運転支援システムの実証実験や、公共交通に対する優先信号の情報提供・制御システムの実証実験など、来たくて・住みたくなるスマートシティ広島を目指して取り組んで参ります。

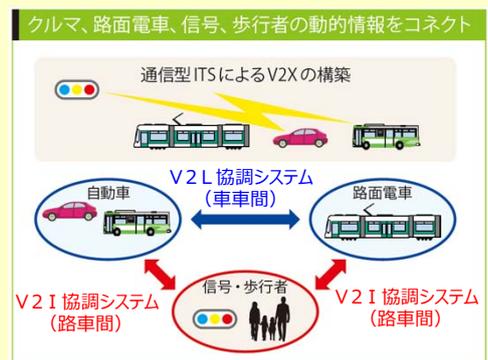
※1 ひろしまサンドボックス : <https://hiroshima-sandbox.jp/SBKatudouList.html>

広島県では、2018年度からAI/IoT、ビッグデータ等の最新のテクノロジーを活用することにより、様々な産業・地域課題の解決をテーマとして共創で試行錯誤できるオープンな実証実験の場「ひろしまサンドボックス」を構築しています。



※2 通信型ITS

ITS (Intelligent Transport Systems : 高度道路交通システム) 専用周波数帯 (700MHz帯) による人と道路とクルマの間で行う双方向通信技術によって交通情報を連携するシステム。



実証実験の概要

○システム運用期間：

2020年 7月 1日（水）から
2021年 2月（予定） まで

○信号情報提供場所：

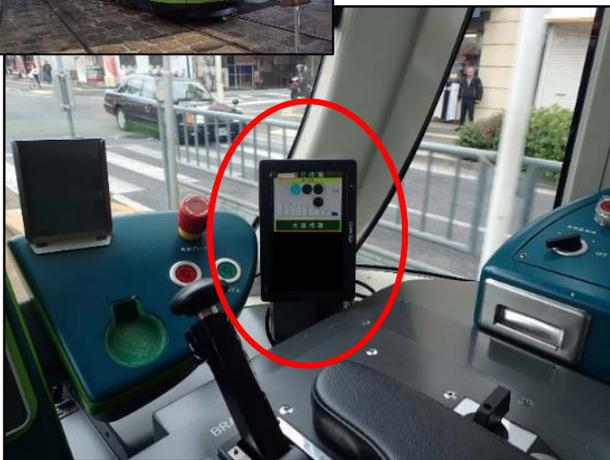
ふないりほんまちこうさてん
舟入本町交差点（広島市中区舟入本町）
せんだまち3ちょうめこうさてん
千田町3丁目交差点（広島市中区千田町3丁目）

○信号情報提供車両：

路面電車4両、路線バス3両



出典：国土地理院「地理院地図（電子国土Web）」
加工：中電技術コンサルタント株式会社



路面電車の運転席横に設置した支援モニター

路線バスの運転席横に設置した支援モニター

○ その他

7月下旬～8月上旬頃に、開発した支援システムを見学して頂くための試乗会を予定しておりますので、開催日が決まりましたらご案内いたします。但し、新型コロナウイルス感染症の状況により事前予告なく延期、または中止の場合があります。

問い合わせ先

CEC 中電技術コンサルタント株式会社

TEL：(082)256-3353

交通・都市本部 道路交通部

URL：<https://www.cecnet.co.jp/>

山崎 俊和（やまさき としかず）

西野 孝晴（にし の たかはる）

難波 秀太郎（なんば しゅうたろう）

〈同時資料提供先〉 広島県政記者クラブ、広島経済記者クラブ、中電記者クラブ